

特集

(IVR:インターベンショナルラジオロジー)

画像下治療について



診療部長(放射線科)

吉田 弘太郎

【よしだ・こうたろう】

鳥取大学医学部:昭和62年3月卒業	・日本医学放射線学会
日本医学放射線学会放射線科専門医	・日本インターベンショナル
日本核医学会P E T 認定医	ラジオロジー学会
島根県緩和ケア指導医	・日本緩和医療学会員
	・日本核医学会

放射線科の吉田といいます。今回は放射線科が行っているIVRについて説明させていただきます。

血管造影は、CTやMRIといった画像診断が一般的でなかった1980年代まで重要な画像診断法の一つでした。この血管造影の手技を用いて低侵襲に病変を治療することが多く行われており、IVR(画像下治療)とされています。今では先に挙げた血管撮影装置だけではなく、CTおよび透視機器、超音波機器やMRIなど、一般的に画像診断に使用される機器を使って、体内の画像を観察しながら治療が行われています。その種類は大きく分けて血管系、非血管系の手技があり、対象の臓器や器官でさらに多くの手技が存在します。

浜田医療センターの理念

医療を通じて

「地域で生きる」を

支援する

基本方針

1. 安全で良質な医療の提供
2. 患者に寄り添った医療
3. 介護、福祉との連携
4. 地域の町づくりに貢献
5. 地域住民と職員の健康増進
6. 持続可能な健全経営

患者さんの権利

- ・人格・価値観が尊重される権利
- ・良質な医療を受ける権利
- ・十分な説明と情報を得る権利
- ・自己決定の権利
- ・個人情報を守られる権利

当院を身近に知っていただくため公式ホームページ及び公式 facebook を作成しています。一度ご覧ください。

ホームページ

<https://hamada.hosp.go.jp/>



facebook

<https://www.facebook.com/hamadamedicalcenter>



浜田医療センター で検索!

contents

- 2~4 特集:画像下治療について
- 5 認定看護師の活動について
- 6~9 看護学校だより
- 10 全館面会禁止について(お知らせ)
- 11 冬の特別メニュー / 募集
- 12 外来診療担当医表

血管系では、人の体に存在する動脈や静脈などの血管自体、血液を送り出す心臓や流れ込む脳、肝臓、腎臓などの臓器が治療の対象となります。最近では髪の毛よりも細いリンパ管などもIVRの対象となっています。心筋梗塞の時に心臓カテーテル検査で行われる冠動脈血管拡張やステント留置術などはよく知られた手技です。脳梗塞の時に行われる脳動脈血栓除去術も器具の発達により緊急的に合併症少なく行われるようになってきました。

これら血管系ではなく、今回は比較的認知度の低い非血管系IVR中心に説明していきます。

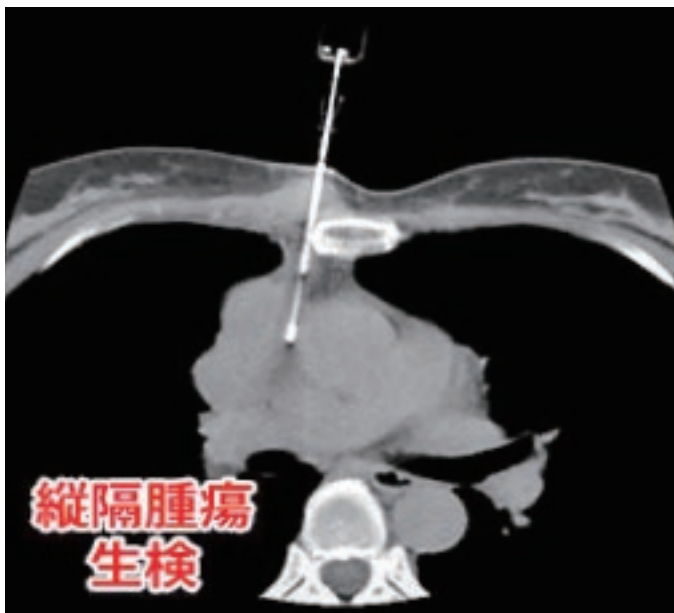
血管でなくて治療が可能なところ、臓器や病気の状態には実はいろいろなものがあります。管腔臓器では、血管と同様に器具を留置する胆管・消化管・気管ステント留置術や細くなった管腔を拡張する拡張術（食道や胆管など）があります。実質臓器では腫瘍に対する局所療法や人体内部の膿瘍に対するドレナージ術があります。

具体的には以下のようなものがあり、日常診療の中で比較的多く行われています。

今後も診断機器の進歩や新たな治療用の器具（デバイス）の考案により、今までできなかったものが可能になると推測します。また、新たな画像診断の出現により、新規の画像下治療（IVR）がどんどん出現するであろうと考えます。

①各種ドレナージ術

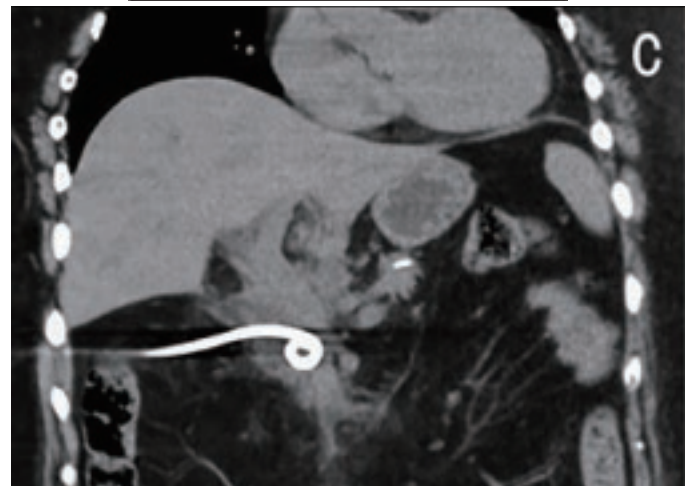
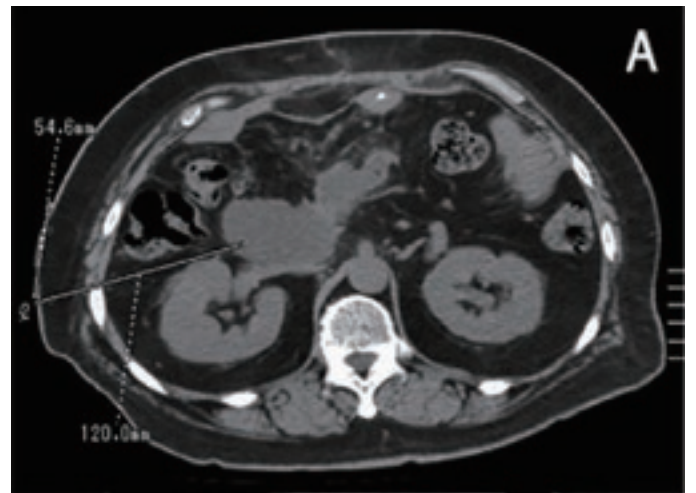
手術後の体腔内膿瘍や液体貯留を体外に排出するためのドレナージチューブを留置する膿瘍ドレナージ術、胆管狭窄による閉塞性黄疸の時に肝内胆管を穿刺してドレナージチューブを留置する経皮経肝胆管ドレナージ術などがある。



縦隔腫瘍生検



CTガイド下肺生検（転移性肺がん）



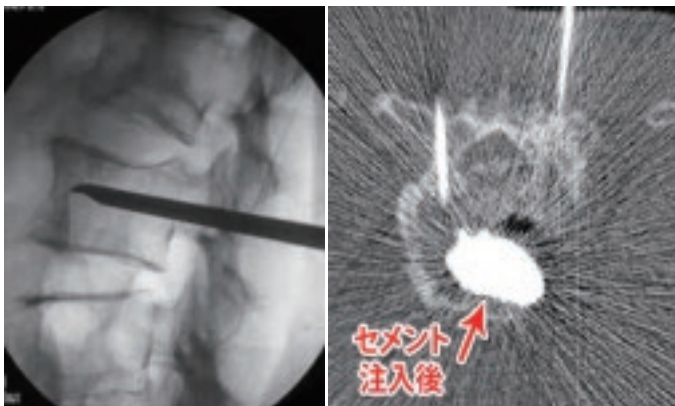
膿瘍ドレナージ（右腎と十二指腸の間の膿瘍）

②組織生検

CTガイド下肺生検などで、治療ではないが、疾患の鑑別のために肺や肝臓など体の内部の臓器を穿刺して組織や細胞を採取する。

③経皮的局所治療

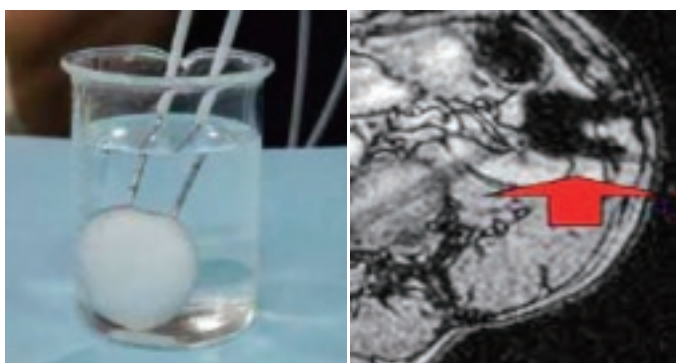
肝細胞癌などの臓器腫瘍の治療のために行われる。エタノールを注入して細胞を死滅させる方法やマイクロ波やラジオ波で細胞を熱凝固させる方法、組織を冷凍させて細胞を壊死させる凍結療法などがあります。また、骨腫瘍や圧迫骨折にセメントを注入して補強や疼痛の改善を図る方法もある。



椎体形成術



ラジオ波焼灼療法（RFA針）



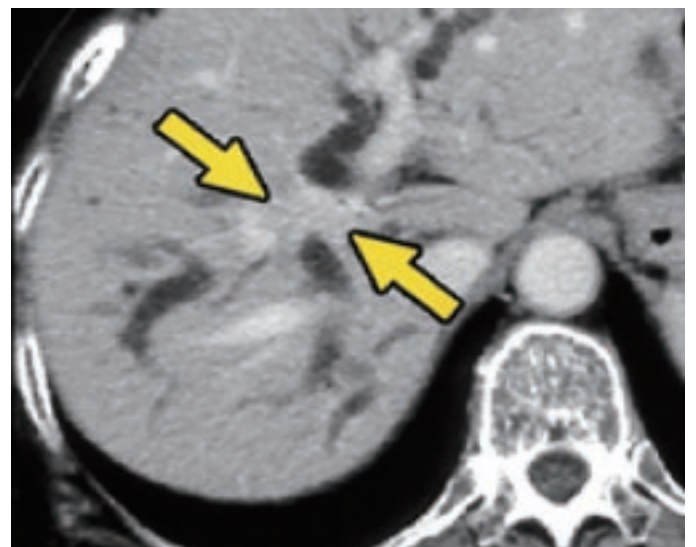
凍結療法（左腎がん）

④拡張術、ステント留置術

胆管や消化管などの狭窄した管腔臓器をバルーンという風船を用いて拡張する、拡張するためのステントを留置して通過改善を図る手技である。



大腸消化管ステント（横行結腸がん）



胆管ステント（肝門部胆管がん）